

第58回京都大学宇治キャンパス産学交流会

< エネルギー理工学研究所 >

◆ 日時 2026年6月24日(水) 13:30~17:20

◆ 場所 宇治キャンパス総合研究実験1号棟 HW401号室

第2部:懇親会 カフェレストランきはだ



京都大学宇治キャンパスにある4つの研究所(エネルギー理工学、生存圏、防災、化学)との産学連携や参加企業間の業種の垣根を越えた連携を目的に開催しています。今回はエネルギー理工学研究所との交流会です。

《第1部:講演会》

◇ 開会のご挨拶 13:30~13:40

◇ 研究シーズ (質疑応答含む) 13:40~15:30

「核融合の基礎知識:なぜ実現が難しいのか?」

京都大学 エネルギー理工学研究所 准教授 小林 進二 氏

最近、将来のエネルギーとして核融合(フュージョンエネルギー)が知られるようになりました。当研究所では核融合の実現を目指した高温プラズマの基礎研究をしています。本講演では核融合の最近の動向と今後の展望を概説します。また、実験に使用している装置とその構成という視点から高温プラズマの生成方法を紹介いたします。



「酵素を用いた木材からの有用物質生産」

京都大学 エネルギー理工学研究所 准教授 近藤 敬子 氏

木材の成分(セルロース・ヘミセルロース・リグニンなど)は石油に代わる燃料や化学品の原料としての活用が期待されています。自然界では木材は微生物が作る酵素の働きで分解されます。講演では酵素を利用して木材からバイオプラスチック等の有用物質を作ることを目指した研究について紹介します。



◇ 関連企業紹介 (質疑応答含む) 15:40~16:20

「認知症の早期画像診断に向けた磁気粒子イメージング技術の開発」

三菱電機株式会社 先端技術総合研究所

電機・エネルギーシステム技術部 電磁気応用技術グループ 主席研究員 鷲野 将臣 氏

磁石のように磁場に反応するナノサイズの磁気粒子と、その反応を利用してヒトの体内の分布や特定の物質を可視化する新しい画像技術「磁気粒子イメージング」を分かりやすく紹介します。放射線を使わず安全に計測できる特長を活かし、認知症の早期発見を目指した最先端の取り組みについて解説します。



◇ 施設見学 ヘリオトロン型核融合プラズマ実験装置・超高感度NMR実験装置 16:20~17:20

《第2部:懇親会》 (参加費制・レストランきはだ) 17:30~19:00

- ◆主催 京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会・京都府中小企業技術センター・(公財)京都産業21
- ◆共催 京都大学エネルギー理工学研究所・京都やましろ企業オンリーワン倶楽部
- ◆協力 宇治市

参加申込書

第58回京都大学宇治キャンパス産学交流会(6月24日(水)開催)

【WEB申し込み】 京都府中小企業技術センターホームページ TOP ページ
「第58回京都大学宇治キャンパス産学交流会」より

【E-mail/FAX申し込み】

E-mail: keihanna@kptc.jp / FAX:0774-66-7546

【締め切り】 6月19日(金)(先着60名)

【参加費】第1部:無料/第2部:企業連絡会員2000円・会員外5000円(講演会受付時に徴収)

*ご記入いただいた個人情報は開催者で共有するとともにイベント等のご案内に利用することがあります

会社名				
所在地	〒			
氏名	所属	電話番号	E-mail	参加(○印)
				1部・2部
				1部・2部
				1部・2部

← 交流会で配付する参加者名簿(所属・氏名)への掲載を希望されない場合はチェックをお願いします。

- 公共交通機関の利用にご協力ください。(お車利用の方は 南門(守衛室)での駐車手続きが必要です)
- 講演会場は 総合研究実験1号棟4階 HW401号室です

